

はにい 『みんなの力で』

令和元年10月2日

「これから、第4回中央委員会を始めます。」

この中学校の中央委員会は、生徒会本部役員、各学級委員、委員会委員長、部長会長を合わせた合計49名がメンバーである。

「これより議事に入ります。議長は3年3組の〇〇さんです。」

「はい。スムーズな議事運営にご協力をお願いします。」

前半は、各学年や委員会からの報告が行われた。

「何か意見や質問はありますか。」一斉に手が挙がる。

「放送委員会に質問です、先月の反省に、『2年生が清掃時の放送当番を忘れがちだった』とありますが、何か対策は考えているのですか。」

「昼の放送時に、忘れがちな2年生委員には、3年生が声掛けをすることにしています。」

「図書委員会に提案です。『本の紹介コーナーについて知ってもらう方法を考える』とありますが、昼の放送で図書室にある本の紹介コーナーをアピールするのはどうでしょうか？」

「今の時点では、様々な案を検討中です。いただいたご意見も参考にさせていただきます。」

3年生だけでなく、1年生や2年生からも次々と質問や意見が飛び出す。それらに対する回答が終わるか終わらないかのうちに、別の手がいくつも挙がっている。……

後半は、6グループに分かれ、各学級や委員会で推進する「安心・安全に向けた活動」の改善点について話し合いが行われた。

「1学年は防犯ブザーの所持率が低いから、100%をめざして、対策を練りたい。」

「集計して、グラフで示すと意識が高まるんじゃないかな。」……

先生は、各テーブルの話し合いの様子を見守るだけで、生徒の協議に一切加わらない。

「最後に、先生から、お願いします。」

「限られた時間の中で、意見を言い合えたね。

今日の協議の中から、新しく取り入れたり持ち帰ったりして、改善できることを各々が考えて、みんなの力で学校がよりよくなるように頑張りましょう。」

生徒たちの活発な議論を価値づける先生の発言で、会議は終了した。

『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。

ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp

